

平成 30 年度 施策評価表

施策	0402	地域間交流の推進	施策担当部等	企画政策部	部長	山下 健一郎
			施策担当課等	企画政策課	課長	横田 良一
施策の方針	国内の姉妹都市や友好都市、さらには天正遣欧少年使節ゆかりの地などとの地域間交流を推進する。					

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H29年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 姉妹都市・友好交流都市との年間交流数	回	5	5 5	5 5	6	7	6	100.0%	83.3%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

姉妹都市の秋田県仙北市と2回（仙北市角館物産展 於大村市、濱田謹吾少年銅像建立30周年記念式典 於仙北市）、兵庫県伊丹市と1回（緑化フェア 於伊丹市）、友好交流都市の島根県飯南町と2回（夏越祭り 於大村市、青少年交流 於飯南町）と目標値どおりの交流を行い、地域間交流活動の推進を図った。

施策経費

(単位:千円)		H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込	特記事項
内訳	事業費	5,283	3,742	5,674	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	334	0	1,882	
	一般財源	4,949	3,742	3,792	
	人件費	6,589	6,923	-	
フルコスト	11,872	10,665	-		

施策の概要

040201	地域間交流の推進	他の地域の人々との交流を通じて相互の理解を深め、広域的振興を図るため、国内の姉妹都市である秋田県仙北市、兵庫県伊丹市のほか、友好交流都市である島根県飯南町、さらには天正遣欧少年使節ゆかりの地などとの多様な地域間交流活動を推進します。 また、大村湾を活かした地域の活性化を推進するため、大村湾流域自治体5市5町等による連携と交流を推進します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>(大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク事業) 大村湾を活用し、5市5町の交流の推進及び広域的な連携を図るため、大村湾自治体ネットワーク参加自治体の連携が課題である。</p> <p>(天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業) 国内交流事業の応募者が毎回少ない傾向にある。</p> <p>(姉妹都市交流事業) 姉妹都市である伊丹市の「伊丹市姉妹都市協会」が平成28年3月に解散したため、伊丹市との交流の機会が減少した。今後は、新たな交流の機会を創出し継続させることが必要である。</p>
-------------------------	--

【CHECK（評価）評価調整委員会】

<p>(今年度は評価調整委員会による評価の対象外)</p>	
-------------------------------	--

【ACTION（改善・改革）】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>(大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク事業) 5市5町の交流の推進及び広域的な連携については、具体的な事業を実施する組織を中心に連携を行うことで、実効性を確保していく。</p> <p>(天正遣欧少年使節ゆかりの地交流事業) 国内交流事業について、実施時期や交流事業の内容について、参加自治体間で検討を図る。 海外派遣研修は3年ごとの開催となっており、次回開催は平成32年度の予定であったが、東京五輪の年と重なり旅費の高騰が予想されることから、1年前倒しし前年（平成31年度）に変更となった。このため、平成31年度は、本市が天正遣欧少年使節ゆかりの地首長会議の副事務局となり、首長会議及び担当課長・担当者会議開催等の事務全般を行うこととなる。</p> <p>(姉妹都市交流事業) 平成30年度、初めて3都市による「姉妹都市、友好交流都市物産展」を実施したが、一部売り切れや、売れ残りが生じた。次回開催からは、今回の状況を踏まえた物産の内容、数量となるようにし、市民のニーズにより近づけ、物産による交流を図りたい。 平成31年度は、仙北市との姉妹都市提携40周年記念事業を、仙北市において開催する。</p>
---	--

平成31年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	H31年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	